

新基地建設反対名護共同センターニュース

それでも新基地つくるのか —総選挙「オール沖縄」が圧勝!—

衆院選沖縄選挙区は翁長雄志知事を支援する「オール沖縄」勢力が4区で惜敗したものの1~3区で勝利しました。

2区、3区では照屋寛徳、玉城デニー候補が自民党候補に圧勝。二人の自民前職候補は比例復活も及びませんでした。

大激戦を制した1区の赤嶺政賢候補は、投票率と得票率を大きく前進させての大勝利でした。

オール沖縄5万6千票上回る

オール沖縄4候補の得票合計は32万4千票余で、自民の26万7千票余を5万6765票上回りました。選挙戦を通して、来年2月4日の名護市長選、11月の知事選、那覇市長選など首長選勝利への条件を広げる結果を示しました。



3区玉城デニー氏



2区照屋寛徳氏



翁長知事、城間那覇市長と握手する1区の赤嶺政賢氏(中央)

新基地建設反対へ不屈の民意示す

「反辺野古民意揺るがず」
沖繩タイムズ社説
(23日)から

自民党が圧勝した全国と比べ、県内の選挙結果は対照的だ。名護市辺野古沿岸部への新基地建設に反対する「オール沖縄」の候補が1、2、3区で比例復活組の自民前職を振り切った。

前回2014年の衆院選に続く「オール沖縄」の勝利は、安倍政権の基地政策や強引な国会運営に対する批判にとどまらない。不公平な扱いに対する強烈な異議申し立てが広く県民の間に共有されていることを物語っている。

とりわけ象徴的なのは、大票田の那覇市を抱える1区は、共産前職の赤嶺政賢氏(69)が接戦の末に自民、維新の前職らを制したことだ。共産党候補が小選挙区で当選したのは全国で沖縄1区だけである。翁長雄志知事のお膝元での勝利は知事の求心力を高めることになるだろう

「違法工事はやめよ」と海上座り込み行動 抗議船7隻、カヌー75艇で抗議

辺野古新基地建設阻止!

土曜日県民大行動に参加を

土曜日県民大行動は、毎月第1土曜日を「県民総ぐるみ」で「あきらめない県民の総意」を全国、全世界に発信することを目的にしています。多くの県民が参加しましょう。

とき 11月4日(土)

ところ 辺野古ゲート前

規模(延べ)1000人以上

第1部(座込み)8:00~12:30

第2部(集会)12:00~13:00

第3部(座込み)12:30~16:00

※座込みは、通常の工事ゲート前

「大浦湾海底の活断層」特別報告
大浦湾海底の活断層の問題について琉大名誉教授の加藤祐三氏が特別報告します。
とき 11月2日(木)午前10時半
ところ 辺野古ゲート前テント村

へり基地反対協は25日、辺野古の浜から抗議船7隻、カヌー75艇で「海上座り込み」行動を展開しました。反対協事務局長で平和丸船長の仲本興真さんが「辺野古新基地建設反対の民意は、衆院選でオール沖縄の勝利で示された。違法工事は直ちに中止せよ」とマイクで訴えました。早朝からの海上行動に150人余りが結集、午後からの浜の連帯集会には300人が参加して開催。集会では伊波洋一、糸数慶子両参院議員が挨拶しました。



「県民の民意を尊重せよ!違法工事中止せよ!」と海上から抗議するカヌーチーム(N1護岸付近で)。